



Banco MUFG Brasil S.A.

Treasury & Markets
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

1. マーケット・レート

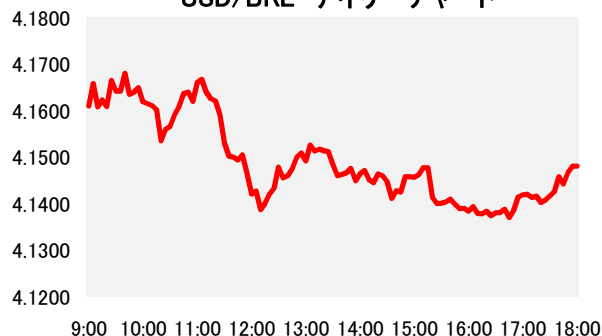
			11月5日	11月6日	11月7日	11月8日	11月11日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.9930	4.0750	4.1010	4.1680	4.1480	-0.0200
	BRL/JPY	Spot	27.340	26.730	26.64	26.21	26.28	+0.07
	EUR/USD	Spot	1.1072	1.1068	1.1048	1.1022	1.1033	+0.0011
	USD/JPY	Spot	109.17	108.96	109.26	109.21	109.05	-0.16
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	4.448	4.443	4.466	4.460	4.447	-0.013
	Future	1Year(p.a.)	4.452	4.464	4.495	4.516	4.486	-0.030
	On-shore	6MTH(p.a.)	2.415	2.516	2.582	2.654	2.636	-0.019
	USD	1Year(p.a.)	2.397	2.540	2.633	2.717	2.696	-0.020
株式	Bovespa指数		108,719.00	108,360.20	109,580.60	107,629.00	108,367.40	+738.40
CDS	CDS Brazil 5y		115.86	118.80	116.31	116.11	117.70	+1.60
商品	CRB指数		182.090	180.513	180.981	181.275	179.413	-1.86

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

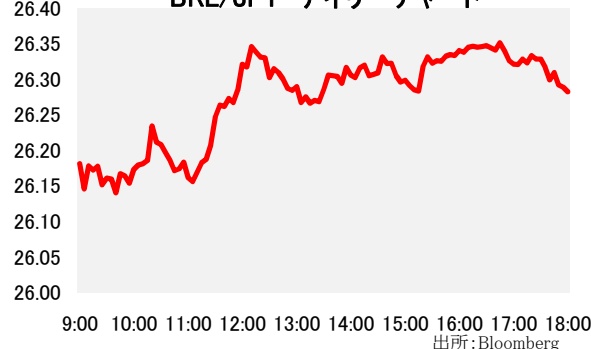
2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
FIPE CPI-週次	0.18%	0.27%	0.15%
IGP-Mインフレ第1回レビュー	0.44%	0.08%	0.68%
貿易収支(週次)	--	-\$232m	\$246m

USD/BRL デイリーチャート



BRL/JPY デイリーチャート



3. 要人コメント

米トランプ大統領 (9日の発言)	中国との通商協議について「うまく進んでいる」としつつ、「米国にとって適切な内容でしか合意を受け付けない」と発言
---------------------	---

4. トピックス

- 本日のレアルは前週末比上昇。前週末にルラ元大統領釈放を受けて急落したレアルに対する反発買いがやや優勢だった。レアルは4.1610で寄り付いた後、日中安値4.1690まで下落したが、その後日中高値4.1360まで反発。結局4.1480でクローズした。
- レアル相場は国外のリスクオンと国内の不透明感の相克といった様相を呈しており、当面は国内要因優勢の相場が続くものとみられる。他方、国外リスクオンの主因たる米中通商協議進展に対する期待感についても、週末の米トランプ大統領発言や、香港情勢緊迫化を受けた中国政府による介入の可能性とそれによる米中合意の棚上げリスクが指摘されるなど予断を許さない。本日はレアル売り圧力がやや和らいだが、国外がリスクオフに転じれば急速にレアル売りが進む可能性もあるため警戒を続けたい。
- 11日(月)発表のブラジル中銀によるアナリスト予想集計では、経済成長率予想について2019年は0.92%で据え置かれた一方、2020年は2.00%から2.08%に上方修正された。インフレ率予想は2019年が3.29%から3.31%に上方修正された一方、2020年は3.60%で据え置かれた。年末の為替レートについては2019年、2020年ともに4.00で据え置かれた。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいませよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は、著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。